

第1版（2023年7月7日作成）

第1.1版（2025年2月28日作成）

第2版（2026年1月31日作成）

呼吸器外科に通院歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 大腸癌肺転移再発切除症例の画像形態と予後との関連

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・呼吸器外科 診療講師 松井 浩史

《研究の目的》 当院の大腸癌肺転移再発に対する肺切除症例の術前画像形態と予後との関連について後向視的に検討するため

《研究期間》 研究機関の長の承認日から2028年3月31日まで

《研究の方法》

●対象となる患者さん

大腸癌肺転移再発の患者さんで、2006年1月7日から2022年11月30日の間に、治癒的肺切除を受けた方

●研究に用いる情報の種類

診断名、年齢、性別、身体所見、術前の各種検査結果、過去の病歴、手術に関する情報、病気の部位、病理組織診断、腫瘍の遺伝子変異、腫瘍の免疫学的情報、術後合併症の有無やその種類と程度、術後長期成績、等

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 呼吸器外科 担当医師 診療講師 松井 浩史

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1

電話 072-804-0101（代表） FAX 072-804-0150